

特集

special feature

取り組みませんか、 ごみの減量

◆問い合わせ＝☎生活環境課（内線2810）

市のごみ処理には市民の皆さんの税金が使われています。

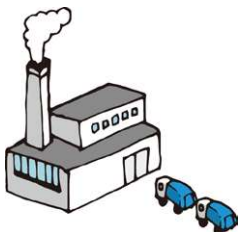
家庭から出るごみの量が増えると、ごみの処理にかかる金額もごみの量に比例して増加します。ごみの処理にかかる費用は毎年増加しており、一人ひとりがごみの減量を意識した生活が必要となります。

今月号では、今日からできるごみ減量の取り組みについてご紹介します。

ごみが増え続けると、どうなるの？

市民サービスの低下につながる恐れ

ごみの運搬費や焼却灰処理費など、ごみの処理にかかる費用が増え、福祉や教育など市民サービスに充てられる金額が減り、市民の皆さんへのサービス低下につながる恐れがあります。



埋立場所の減少

リサイクルできない廃棄物やごみの焼却灰などは、最終処分場と呼ばれる埋立地に埋め立てられます。ごみが増え続けると埋め立て場所がなくなり、まちのごみがあふれてしまいます。

地球温暖化が進行

ごみを焼却した時には、温室効果ガスのひとつである二酸化炭素が発生します。空気中の温室効果ガスが増えると、大気中の熱が増え、気温の上昇につながります。そうすると、人間だけではなく、地球上の動植物の生態系に大きな影響がおよびます。

常総市のごみの現状（令和6年度）

常総市のごみ排出量
約1万2,725t

市民1人あたり

約**210** kgを排出



収集運搬費
約2億140万円



ごみ処理施設
維持管理費・処理費
約4億8,300万円



ごみ処理費用合計
約**6億8,400万円**

担当者の声

家庭から排出されるごみの処理には、たくさんの費用がかかっています。一人ひとりがごみの減量に努めていただくことにより、年間で多くのごみを減らすことができます。将来のためにも、ごみの減量に取り組んでみましょう。

次のページでは、日常生活でできるごみ減量の取り組みを紹介します。



生活環境課
横山主査兼クリーン推進係長

今日からできる、ごみ減量の取り組み

家庭での「3キリ」

使いきり

買った食材を使い切る

- ✓ 買い物前に冷蔵庫をチェック！
- ✓ 食材を正しく保存
- ✓ 食べられる部分はすべて消費

食べきり

残さず食べきる

- ✓ 残ってしまったときは保存して早めに食べきり
- ✓ 食べられる野菜の皮や芯は料理に利用

水きり

ごみを出す前に水を切る

- ✓ 水切りネットを活用し、生ごみを出す前にぎゅっとしぼる
- ✓ 野菜の使えない部分などは洗う前に切り落とし、生ごみを濡らさない
- ✓ 水気の多い果物や野菜は、捨てる前に干して乾燥

市で水切りに便利なグッズを無料で配付中



⑧ 生活環境課で配布していますので、ご利用ください。

マイバッグを活用

レジ袋をもらわず、
マイバッグを使うことで、
家庭でのごみを減量する
ことができます。



資源ごみと燃えるごみをきちんと分別

資源ごみと燃えるごみを
分別することで、家庭ごみ
を減らせるだけでなく、
再資源化することができます。



ごみ減量に 向けた支援

生ごみ処理容器などの購入を考えている方

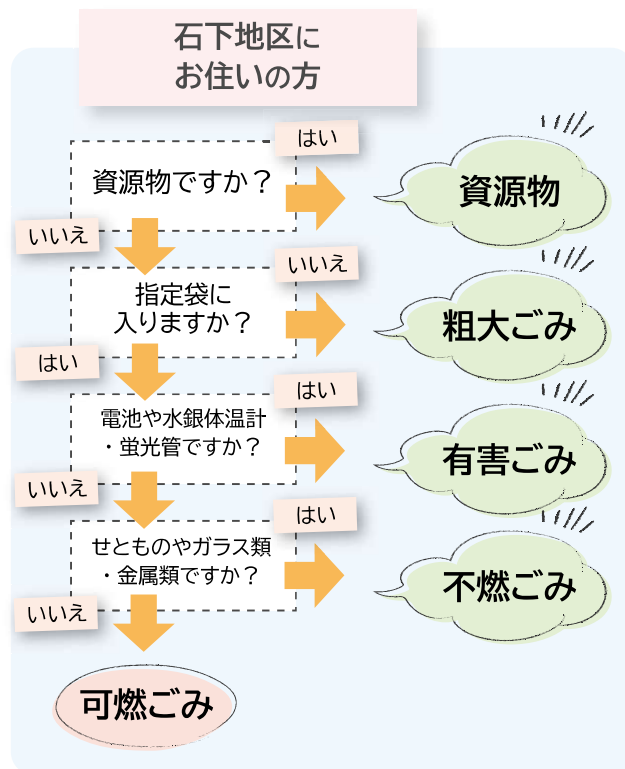
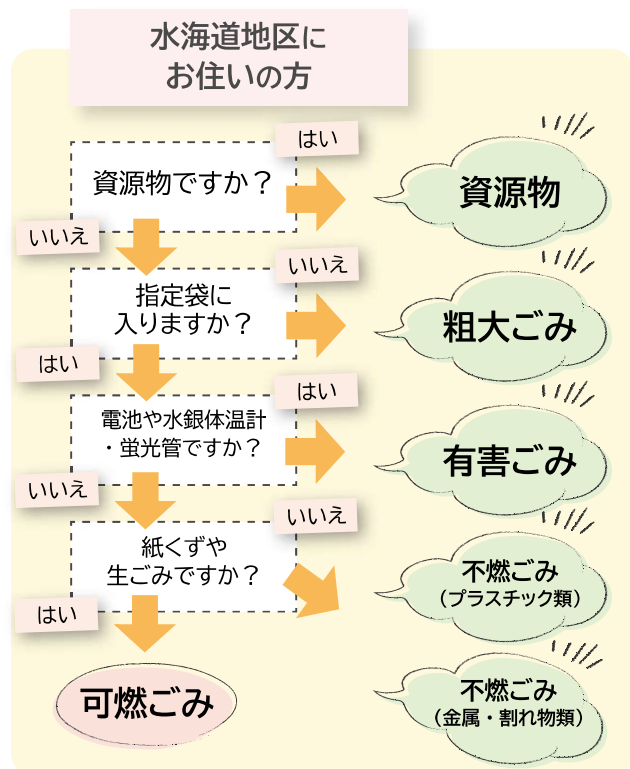
市では、生ごみ処理容器などを購入した方に
補助金を交付しています。



市ホームページ

ごみの減量化のために、正しく分別しましょう

詳しい分別方法は
こちらからご確認
ください。



小型充電式電池の場合



不要品の処分を考えている方

不要品をごみとして捨てる前に「おいくら」を利用して再利用につなげられるかもしれません。ぜひ、ご活用ください。

「おいくら」とは、複数のショップの買取価格を比較し、手間なく売却できるサービスです。



詳しくはこちら

※「おいくら」は、市と連携協定を結んでいる（株）マーケットエンタープライズが提供するリユースプラットフォームです。